



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1973号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2036回例会

2014.8.7晴

司 会

登崎久夫君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 三田明宏君

会長挨拶

会長 諏訪部照久君

皆さんこんにちは、今日は8月7日の第1例会です。いよいよ三嶋大社の夏祭りが一週間後となり、8月16日の例祭には当クラブの会長として出席してきます。

お祭りが近づくと、あちらこちらで三島囃子を奏でる音が、今年も夏祭りが来るぞと胸を躍らせます。この夏祭りは春秋の祭りとは違って、本来の姿を大きく変えていると言われていいます。もともとこの時期には、災いを除去する行事が盛んな時で、虫害・風害・特に水神を祭る土地が多くみられましたが、中世から続く牛頭天王(スサノオ)を祀った祇園信仰が全国に広まり、夏祭りとして行われる様になったとの事です。それが江戸時代になって、山車・神輿・花火という現在見かける派手な姿になったと言われています。本来「まつり」は「まつる」と同じ宗教的行為をさす語源で、祝儀だけではなく鎮魂や不祝儀も含んでいて、決して派手な儀式ではありません。このことは、下田市の三倉山(大和の霊山・三輪山に似た山)から出土した古代の祭祀遺物でもわかりますが、近くの丘陵からは農工具・土製の椀・盃・勾玉・鏡などの祭祀用の仮器が出土していて、お祭り用の神楽や神輿などの類の形跡はありません。よって現代になってから、宗教的な儀礼というより「お祭り騒ぎ」という表現があるほど祝祭化してきて、さらに観光としても成り立ってきました。

今は科学の発達により人々の生活は豊かになりましたが、自然界への恐れやおのきを「まつり」によって克服してきた先人達への感謝の念を忘れないように「お祭り騒ぎ」を楽しみたいと思います。

“こんにちは、ようこそ”

ビジター 中田 真君(沼津柿田川RC)
紀平幸一君(伊豆中央RC)
小沼孝次君(三島RC)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席正率
前々回	33/44	75.00%	39/44	88.64%
今回	42/46	91.11%	会員総数	51名

欠席者 窪田君、西本君、藤江君、柳田君



幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①今月は会員増強月間。本日はクラブ協議会を催し、会員増強維持委員長の鈴木(正)さんから講話をして戴きます。
- ②8月の予定は、14日(木)は特別休会。21日(木)は西本さんの卓話。28日(木)は坂本さんの卓話。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

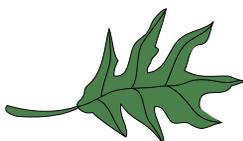
ロータリーに輝きを

おめでとう

会員誕生日 田熊君
入会記念日 小野君、佐々木君、
野田君、鈴木(正)君

スマイルボックス

- ◆米山君、2日には叙勲のお祝いの会を設けて頂きました。大変感激いたしました。
- ◆Dテーブル、7月30日にDテーブル会を行いました。有意義で楽しいテーブル会でした。残金をスマイルします。
- ◆Aテーブル、7月31日にテーブル会をしました。残金スマイルします。



理事会

(報告事項)

- ①8月23日(土)、イトーヨーカ堂三島店にて献血運動。午前15名、午後6名のお手伝い。メイクアップ扱い。
- ②9月第1例会(米山記念館)、第2例会(松韻)は例会場変更。
- ③佐野さんのご母堂逝去、ご冥福を祈念。通夜は本日18時、告別式は8日(金)11時、三島聖苑。親睦他でお手伝い(通夜5名、告別式2名)。

卓話

会員増強・維持について

会員増強・維持委員長 鈴木正二君

今年度の会員増強・維持委員会は、私の他に、副委員長に前田博利さん、委員に玄角裕巳さん、遠藤武子さん、長田敏彦さんの5名で活動していきますので宜しくお願い致します。

私は父親の後を継いで三島西ロータリークラブの会員になり、なんとなく活動をしてきましたが、6年目に会員増強・維持委員長という大役を仰せつかりいささか慌てております。4月6日の浜松での地区研修・協議会で「クラブ会員増強委員会の手引き」をいただき、会員増強・維持をはじめ各活動はシステムチックに行われていくことがわかりました。それから時間がたってもまだ展開しておりませんが、これから委員会のメンバーと手引きを再確認しながら進めていきます。

7月13日に地区会員増強・維持委員会研修セミナーが開催され会長と出席してきました。ガバナーの挨拶と講評、DVD研修や、各分区代表の、1)ロータリーでの心に残る体験談、2)私がロータリーを辞めない訳、3)会員増強の成功例、のテーマに沿った発表があり、活動が身近に感じられてきました。その中で印象に残った言葉は、「昼飯会員でもいい」「活躍されている方々と仲間になれる」「平等である」「自然に奉仕活動に参加している」「魅力あるクラブなので僕はあなたと仲間になりたい」「居心地が良い」「良質で非日常の時間と空間がある」「5~60歳代でロータリーに入っていない人は入らない理由が明確な人が多い」等々、そうだなと思うものでした。

7月18日の第2034回例会のガバナー公式訪問で岡本ガバナーのお話は、クラブの魅力と活性化に対し分かりやすい具体的なお話でした。週報を見て再確認していただきたいのと、折に触れ読み返しながら委員会活動をしていきたいと思えます。

これまでのことを集約しますと、皆で心から楽しめるクラブになるように活動をしていって、それを周りの人に伝えていき、更に楽しく仲間を増やしていくことだと思います。そういうことで、会員増強・維持活動は皆様の活動の結果でもありますので、宜しくご協力をお願い致します。

会員候補者情報の提供依頼等の具体的なお願いを今後しますので、今日から心当たりを考え始めていただきたいと思えます。

残りの時間は、ロータリークラブの素晴らしいところ、三島西ロータリークラブの良いところ・楽しいところを再確認し共有したいと思えますので、手を上げてご発言をお願い致します。前田副委員長が先行して動いてくれて、いろいろな壁にぶつかっているようなので、「こんなことを言われた、こんな反応が返ってきた」などケーススタディとして諸先輩方のご教示をお願いします。

(週報担当:遠藤眞道)